

2021年9月24日（金）

5年生「防災について考えてみよう」

武蔵野東小学校の高学年の校舎である北原記念館は、環境や防災を考えた設計になっています。屋上には20KWの太陽光パネルがあり、その発電の状態をモニターで子どもたちが観察することもできるようになっています。校庭の東側にあるビオトープの循環もその発電によって供給された電力を使用しています。また、地下には60トンの雨水が貯蓄されており、この水はビオトープに汲み上げられたり、災害時には地域に提供されるシステムになっています。

先日、備蓄品のパンとビスケットを5、6年生に配布しましたから、ご家庭でも防災について話題にさせていただき、災害の際の約束事などを確認する機会にしてください。

